



ごあいさつ

皆さま、日ごろ全国の皆さまから温かいサポートをいただきありがとうございます。JHPは、1993年9月の設立から18年目を迎えています。この間、「できることから始めよう」という呼びかけにご賛同いただき、少しずつ活動の輪を広げて参りました。何をあいても、皆さまにお会いして直接にお話できないことを心苦しく思っております。皆さまは、私たちにとって心強い仲間であり、常に心を一緒に活動しているということをお忘れではありません。そして、カンボジアをはじめとする世界の子どもたちと共に、争いのない地球市民として歩んでいきたいと考えております。

先日、「国際ボランティア・カレッジ」の修了式には93歳になられた評論家の秋山ちえ子先生が出席されて、JHPの活動に対し、カンボジアの支援グループのリーダーとして発展して欲しい、と激励のメッセージをいただきました。2009年度は、学校建設数が240棟を超え、心を育む音楽、美術などの支援も充実させることができました。運営面では新事務所移転、組織強化に向けたセルフチェックへの試みなど新たな発展に向けた準備を進めることができました。

2010年度は、カンボジア支援の更なる充実に加え、ネパール支援の可能性も探りながら、海外ボランティア派遣を通じて次代を担う日本の若者を育てていきたいと考えております。

実際に、教職、政治、国際協力、NGOをめざす学生が多く、日本中の教育現場で子どもたちと素晴らしい成果をあげているもの、青年海外協力隊としてアジア、南米、アフリカの地で汗を流しつつ学んでいるもの、また政治をめざした者には市会議員、県会議員、国会議員となって人間の安全と幸福を実現すべく奮闘しているものあり、他団体のNGOに参加して困難な地区で救援活動に奮闘し、あるいは現地活動の中で迷いをふっ切って帰国し家業を継いで街おこしに取り組むものあり、それぞれの人生を逞しく歩いております。

今年の事業報告書・事業計画書は、「見やすく、分かりやすく」をテーマにいたしました。JHPの教育支援の成果と計画について、多くの皆さまのご意見、ご感想をお待ち申し上げます。

小山内美江子

JHPは、戦争や自然災害で教育の機会を奪われた世界の子ども達に、人種、国籍、宗教、その他の信条の違いにかかわらず広く教育等の援助を行い、また紛争や自然災害による被災地・被災者への救援活動を通じて次代を担う若者達への地球市民教育を実践することを目的とする認定NPO団体です。



設立経緯

- 1991年、JHPの前身であるJIRACとして湾岸戦争後に取り残されたクルド難民の救援をはじめて学生達とイランで実施した。
- 同年12月、小山内美江子と二谷英明らがカンボジア難民救援のため、タイ国境キャンプを視察し準備に入る。
- 1992～93年、タイ国境からのカンボジア帰還難民救援活動の中から、子どもたちのための学校建設の必要性を把握。
- 1993年9月15日にJIRACの中から「カンボジアの子どもに学校をつくる会」を設立。
- 1997年4月より会費会員制に移行して、「JHP・学校をつくる会」に改称。
- 2000年10月に東京都より特定非営利活動法人(NPO法人)の認証を受け、11月に登記完了。
- 2004年1月1日に日本で19番目に国税庁より認定NPO法人の認定を受けた。

1993	カンボジア活動隊派遣開始(以後年2～3回を継続)
1994	JEN設立に代表小山内が参画。駐在員1名をユーゴスラビアへ派遣
1995	阪神淡路大震災発生。当日から救援活動開始 カンボジアにブノンペン事務所設置、旧ユーゴスラビア隊を定期的に派遣
1996	音楽教育プロジェクト開始。カンボジアに音楽教師1名派遣 アフリカに毛布を送る運動の構成団体として学生の現地派遣開始
1997	地雷廃絶日本キャンペーン(JCBL)の構成団体となる。
1998	カンボジア教育省とNGO活動の合意書を結ぶ
1999	美術教育プロジェクト開始。日本人教師1名派遣。初の絵画展を開催
2000	ブノンペン市認定の音楽教師7名を誕生させる。
2001	JENの構成団体としてインド地震救援隊4名派遣、テントなどを支援。 カンボジア王国と覚書を交わし正式なNGOに認められる。
2002	ユニセフと合同でアフガニスタン支援実施。駐在員1名派遣 JHP初の孤児院完成。CCH(幸せの子どもの家)支援開始。
2003	JHP初のラオス校舎完成、ボスニア活動隊4名派遣、カンボジアには100棟目の校舎完成。
2004	新潟水害、中越地震の支援活動実施
2005	カンボジアにて第1回音楽コンテスト実施(以後年1回実施) 三宅島帰島ボランティア支援活動に参加
2006	JHP・藤原紀香カンボジア子ども教育基金スタート 小山内美江子 国際ボランティア・カレッジ開講 代表小山内がカンボジア王国よりモニサラボン大十字勲章受賞
2007	設立15周年記念祝賀会を開催。マーチングバンド、CCHの子どもが来日出演
2008	1人1万円の呼びかけで631人が寄付参加するユニークな考えが成功し 200棟記念校舎が完成。 代表小山内が第20回毎日国際交流賞を受賞
2009	国際ボランティア・カレッジが第3回浄土宗共生(ともいき)・地域文化大賞 新たな支援対象国の候補としてネパール調査を実施
2010	アカウンティビリティ・セルフチェック2008を実施(詳細はP.31を参照)

